



学校だより 7月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/>

尼崎市立浜田小学校

校長 多田 弘

心をととのえる

暑い日が続いていますが、はまだっ子は毎日、学習や運動に元気に取り組んでいます。自然学校を経験した5年生は、自信を深めた様子が見られ、6年生は毎朝バスケットボール大会に向けて練習に励んでいます。どの学年の授業を見ても、工事で環境が悪い中ですが、落ち着いて学習に取り組んでいます。4月から3カ月が過ぎましたが、どの子も一段と大きく成長してきているようで、嬉しく思っているところです。

本校では、豊かな心の育成の一環として、あいさつ、下駄箱のくつそろえを指導しています。行動を通じて心が整い、成長していくことを期待して、今後も継続していきます。

終戦直後から多くの子どもたちを預かって家族のように育てた長野県円福寺住職、藤本幸邦さんが、玄関のくつの乱れを諭すために次の詩を作られました。

「はきものをそろえると 心もそろう 心がそろうとはきものもそろう
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげましょう
そうすれば世界中の人の心もそろうでしょう」

自分自身の心を整え、人のことを思いやることができるはまだっ子に成長することを願って、朝会でもこの詩を子ども達に紹介しようと思っています。ご家庭でも一緒に読んでいただき、実行していただきたいと思います。

もう一つ紹介します。これは道灌山幼稚園 園長 高橋 系吾さんのものです。

「 その一言
その一言で、励まされ その一言で、夢を持ち
その一言で、腹が立ち その一言で、泣かされる
ほんのわずかな、一言が 不思議に大きな、力持つ
ほんのちょっとの一言で 」

人の心ない一言で落胆したり、もう駄目だとあきらめていた時に、友達から投げかけられた温かい励ましの一言によって、元気を取り戻したりすることがよくあります。人とかかわりに、言葉は大事なものであり、欠くことのできないものです。特に、子ども達の応援団である私達大人は、良きお手本とならなければなりません。上記の詩を肝に銘じて子ども達と接していきたいと思っています。

小学校時代は、とくに「基本的な生活習慣」を身に付けることが重要です。その中でも、上記のことを大切にしつつ、人の話をよく聴くこと、自分のことは自分ですること、人に迷惑をかけることなど、集団生活をする上で身に付けておかなければならないこともあります。様々な体験から多くのことを学べる機会である夏休みも目前です。有意義に過ごせるよう、礼儀正しい態度や言葉遣い、行動の仕方などについて、ご家庭でも話題にさせていただきますようお願いいたします。

ついこの間スタートした1学期も、早くも締めくくりの時期を迎えました。この一学期、2年生は、町たんけん、はまだっこカーニバルや、1年生とのとてととクラブなど、さまざまな行事に取り組みました。

町たんけんでは、校区内のお店など、もっと知りたい場所へ出かけて調べたり、人と深く関わったりすることができました。はまだっこカーニバルでは、初めての出店で、最初は戸惑っていましたが、準備を重ねるうちに、自分たちが楽しむだけでなく、お客さんに楽しんでもらえるような工夫を考えることができました。1年生とのとてととクラブでは、校内探検や遠足で1年生との交流を重ね、2年生らしく成長し、お兄さん、お姉さんとしても、頼もしさが育ってきています。

今後とも、一步一步成長していく2年生の応援、よろしくをお願いします。

2年担任一同

7月の行事予定

月	火	水	木	金
		1 委員会活動	2 代表委員会	3 せき柱そくわん検査(5年生) スクールカウンセラー
6 朝会	7 参観(5校時) 懇談(6校時)	8 クラブ活動	9 1~5年生 午後金曜日時間割	10 6年研究授業(1~5年生 午後木曜日時間割) スクールカウンセラー
13	14	15 給食終了	16	17 終業式 大掃除 12:00 完全下校
20 海の日	21	22 なかよしキャンプ(はまだ6年)	23 夏季水泳指導	24
27	28	29 夏季水泳指導	30	31